

令和4年度
交通安全事業報告

一般財団法人 北海道交通安全協会

目 次

	頁
まえがき	1
第1 交通安全思想の普及及び交通安全活動の推進	
1 交通安全活動対策会議の開催	1
2 交通安全活動の推進	1
3 高齢者と子供の交通事故防止対策の推進	4
4 飲酒運転根絶活動の推進	5
5 スピードダウン啓発活動の推進	5
6 シートベルト全席着用の促進	6
7 居眠り運転防止活動の推進	6
8 自転車利用者に対する各種活動の推進	6
9 安全意識向上の推進	7
第2 優良な運転者の養成及び訓練	
1 自動車学園における運転者教育の推進	7
2 安全運転技能講習等の実施	8
第3 交通安全に関する調査研究	
1 北海道警察との連携による交通情報の活用	8
2 交通事故防止に資する調査研究	8
第4 交通安全活動推進センター事業の積極的な推進	
1 交通事故防止関連書籍、資料の製作事業	9
2 交通規制等の広報事業	9
3 道路使用許可の調査事業	9
4 交通事故相談事業	9
第5 委託事業の適正な実施	
1 自動車保管場所調査及び同データ入力業務	9
2 更新時講習及び停止処分者等講習業務	9
3 運転免許証更新及び高齢者講習情報提供業務	10
4 原付講習業務	11
5 地域交通安全活動推進委員講習等業務	11
6 道路使用許可調査業務	11
第6 交通安全功労者及び優良運転者等の表彰	
1 全日本交通安全協会会長等表彰	11
2 北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰及び会長表彰	12
第7 運転免許証関係申請（届出）者のための事業	
1 運転免許申請用写真の撮影	12
2 運転免許証の郵送	12
第8 地区交通安全協会等への支援	
1 地区交通安全協会等の交通安全活動推進への支援	12
2 交通事故等に係る被害者への支援	13
別表1 運転者会員数調べ（札幌方面）	
別表2 運転者会員数調べ（他 方面）	

令和4年度交通安全事業報告

令和4年度の当協会の交通安全活動は、交通安全対策七者連絡会議（北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、公益社団法人北海道交通安全推進委員会、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道交通安全運転管理者協会）で構成。以下「七者会議」という。）をはじめ、関係機関・団体、各方面交通安全協会及び各地区交通安全協会等が一体となって、北海道が策定した「令和4年度における交通安全運動の推進方針」などにに基づき、交通安全運動の活動重点（子供と高齢者の安全確保、飲酒運転の根絶、スピードダウン、シートベルトの全席着用、居眠り運転の防止、自転車の安全利用、安全意識の向上）を軸とした通年運動や4期40日の期別運動を展開した。

その結果、令和4年中の道内における交通事故による死者数は115人と、北海道の交通事故統計が残っている昭和22年以降最少となった令和3年（120人）を更に下回り過去最少を更新したほか、発生件数についても8,457件（前年比+153件）と増加したものの、人身事故件数の記録が残っている昭和41年以降、令和2年、令和3年に次いで3番目に少ない件数となった。

負傷者数は9,785人（前年比+187人）で、平成28年以降5年ぶりに増加した令和3年に続き、2年連続で増加した。

第1 交通安全思想の普及及び交通安全活動の推進

1 交通安全活動対策会議の開催

七者会議を中心とした、交通安全活動対策会議を開催し、効果的な交通安全活動を行うための推進方針等について意思統一を図った。

(1) 七者会議の主要議題

- 令和4年飲酒運転根絶の日決起大会について（4/12、7/7）
- 夏の交通安全運動「セーフティコール」について（5/17）
- 秋の全国交通安全運動について（8/2）
- 秋の全国交通安全運動「2022交通安全道民総決起大会」について（9/5）
- 冬の交通安全運動セーフティコールについて（10/11）
- 令和5年における交通安全運動の推進方針（案）について（11/15）
- 令和5年春の全国交通安全運動について（R5/3/8：Web会議）

(2) 北海道が主催する各種会議

- 北海道暴走族対策推進協議会（5/27：書面開催）
- 令和4年度北海道飲酒運転根絶推進協議会（11/15）
- 令和5年度交通安全運動推進会議（R5/2/8：Web会議）

2 交通安全活動の推進

(1) 広報啓発活動

ア 期別交通安全運動

- (ア) 春の全国交通安全運動 4/6(水)～4/15(金)
 - 道民の集い（4/6：道庁赤れんが庁舎前庭）
 - 交通安全街頭啓発（4/7～15：アスティ45前交差点他）
- (イ) 夏の交通安全運動 7/13(水)～7/22(金)
 - セーフティコール（7/13：警察本部庁舎前）

- 交通安全街頭啓発（7/14～22：道庁東門前他）
- (ウ) 秋の全国交通安全運動 9/21(水)～9/30(金)
 - 2022交通安全道民総決起大会（9/21：道庁赤れんが庁舎前庭）
 - 当協会職員による交通安全街頭啓発（9/22～30：札幌信金北支店前交差点）
- (エ) 冬の交通安全運動 11/13(日)～11/22日(火)
 - セーフティコール（11/11：オーロラプラザ）
 - 北警察署との合同による交通安全の集い（11/15：札幌サンプラザコンサートホール）
- イ 交通安全の日等の運動
 - (ア) 飲酒運転根絶の日
 - 「飲酒運転根絶の日」決起大会（7/13：かでのホール）
 - (イ) 道民交通安全の日（毎月15日）
 - 当協会職員による交通安全街頭啓発（札幌信金北支店前交差点）
 - (ウ) 自転車安全日
 - サイクルセーフティキャンペーン開始式（4/15：道庁赤れんが庁舎前庭）
 - 自転車安全利用の街頭啓発（5/20、6/3、6/17、7/1、8/19、10/7、10/21：アスティ45前交差点他）
 - (エ) 交通事故死ゼロを目指す日
 - 交通安全街頭啓発（4/8：札幌駅南口広場）
 - 交通安全街頭啓発（9/30：道庁赤れんが庁舎前庭）
- ウ その他の交通安全活動
 - (ア) 交通死亡事故等多発に伴う緊急対策
 - 石狩振興局管内の「交通死亡事故多発警報」の発表による緊急対策（7/7～）
 - 札幌市内における飲酒運転根絶緊急対策（12/6～）
 - (イ) 飲酒運転根絶に係る啓発活動
 - 飲酒運転0（ゼロ）キャンペーンinラソラ（12/20：ラソラ札幌）
- エ テレビ放送による広報

コロナ禍の中で、実施回数が減少した街頭啓発等の交通安全活動への補完対策として、STVテレビのCM等を活用した広報を展開した。

 - (ア) CMによる通年の広報
 - 4月～3月までの1年間……15秒 104回
 - (イ) 各期交通安全運動期間中の広報
 - フリースポット放送
 - 各期交通安全運動10日間……15秒 各期10回 合計40回
 - 「街角30秒勝負」への生出演による広報
 - 各期交通安全運動期間中……30秒 各期1回 合計4回
- オ ラジオ放送による広報

交通事故の防止を図るため、ラジオを活用した交通安全広報を展開した。

 - (ア) STVラジオによる通年の広報
 - 当協会提供コーナーによる広報（53回）
 - 毎週金曜日、午後4時35分から5分間、「吉川のりおスーパーLIVE」内の当協会が提供するコーナーにおいて、交通事故防止に関する各種情報を発信した。
 - 交通安全CMによる広報（53回）
 - 20秒CM「セーフティ北海道」で、季節や交通事故の発生傾向に応じた交通事故防止のポイント（安全な速度編、シートベルト着用編、夕暮れ早まる編、飛び

出し注意編、飲酒運転根絶編、雪道編等)を発信したほか、12月6日から実施された札幌市内における飲酒運転根絶緊急対策に伴い、12月から1月までの間、飲酒運転根絶に特化したCMを放送した。

(イ) 期別交通安全運動期間中の広報

春・秋の全国交通安全運動期間中はSTVラジオ、夏・冬の交通安全運動期間中はHBCラジオのスポット放送(当協会CMソングを使用したオリジナルキャンペーンスポット)による交通事故の防止を呼びかけた。

- 春の全国交通安全運動期間中…4/6～4/15 20秒 67回(STV)
- 夏の交通安全運動期間中…7/13～7/22 20秒 50回(HBC)
- 秋の全国交通安全運動期間中…9/21～9/30 20秒 67回(STV)
- 冬の交通安全運動期間中…11/12～11/21 20秒 50回(HBC)

(ウ) ラジオ中継車による広報

STVラジオ「ランラン号」及びHBCラジオ「トピッカー」から生中継で、交通事故の防止を呼びかけた。

- STVラジオ「ランラン号」中継…4/6 春の全国交通安全運動
- HBCラジオ「トピッカー」中継…7/14 夏の交通安全運動
- STVラジオ「ランラン号」中継…9/21 秋の全国交通安全運動
- HBCラジオ「トピッカー」中継…11/14 冬の交通安全運動

カ デジタルサイネージ(電子看板)を活用した広報

- 北海道庁本庁舎1階玄関ホールの柱壁面(南側)…年間来庁者数約60万人
- 北大病院内の3カ所5面…年間来庁者数約6万人

キ YuoTube公式チャンネルの開設

当協会で作成した各種交通安全映像を多くの方に周知し、交通安全意識の高揚と交通事故防止に資するため、YuoTube公式チャンネル「北海道交通安全協会チャンネル」を開設するなど、SNSを活用した広報啓発を推進した。

ク 交通安全資料等の作製・配布

交通安全活動を効果的に推進するため、交通安全資料等を次表のとおり作製・配布した。

機関紙「交通北海道」	150,600部
各種夜光反射材(無事故チャレンジ用参加証)	22,000個
日ハム選手を起用した交通安全啓発用ポスター	10,000枚
日ハム選手を起用した飲酒運転根絶ポスター	10,000枚
日ハム選手を起用した飲酒運転根絶啓発用うちわ	100,000本
自動二輪免許新規取得者への配布用バイク小旗	3,500本
街頭啓発用小旗(七者連絡会議共同)	500本
自転車安全利用五則クリーナークロス	480枚
運転免許証自主返納者への返礼品(リフレクター)	15,000個
交通安全啓発用「交通安全ブラックブラックガム」	6,000枚
交通安全啓発用ティッシュ	5,100個
交通ミニ統計	2,500部
令和5年交通安全啓発用カレンダー	800組
各種交通安全啓発チラシ	13,100枚

(2) 企業等が実施する交通安全活動への支援

交通安全大会や街頭啓発活動の効果的推進に資するため、企業等が行う交通安全活動を後援したほか、啓発用資材、啓発用DVD、教育資機材の貸出を行った。

ア 企業等が行う交通安全活動の後援

- 第20回バイクにフレンドシップinさっぽろ
(7/3 札幌地区二輪車普及安全協会)
- HBCラジオ交通安全キャンペーン
(9/24~12/13 北海道放送)
- 令和4年度 JA共済全道小・中学校交通安全ポスターコンクール
(10/20 JA共済連北海道)
- 冬期違法駐車撲滅キャンペーン2023
(R5/1/1~3/31 読売新聞北海道支社、(株)読売エージェンシー北海道支社)
- 北海道モーターサイクルショウ2023
(R5/3/11、12 北海道二輪車商業協同組合)

イ 啓発用資材の貸出状況

- ・タスキ…延べ10本
- ・手旗…延べ151本
- ・のぼり旗…延べ50本

ウ 啓発用DVDの貸出状況

- ・保有数…108種類188本
- ・貸出数…156回延べ335本

エ 教育資機材の貸出状況

- ・自転車シミュレータ…35回
- クイックアーム…18回
- ・クイックキャッチ…13回
- ・クイックステップ…10回
- ・酒酔い体験ゴール…24回

(3) 「チャレンジ・セーフティラリー北海道」の実施

7月1日から10月31日までの4カ月間、当協会、北海道交通安全推進委員会、北海道安全運転管理者協会、自動車安全運転センター北海道事務所及び同センター各方面事務所が主催する無事故・無違反運転を競う自主参加型交通安全活動「チャレンジ・セーフティラリー北海道2022」を実施した。

期間中の無事故・無違反の達成率は、98.2%で前年を0.5%上回る過去最高の好成績となった。

【参加者達成状況】

【未達成者内訳】

区分	達成者	未達成者	区分	交通事故(件数)			交通違反	
				死亡	重傷	軽傷	件数	人員
参加人数	142,506	2,555	令和4年度	0	3	79	2,516	2,478
構成率(%)	98.2	1.8	前年比	-1	-1	+2	-797	-746

参加者145,061人(前年比+1,736人)

3 高齢者と子供の交通事故防止対策の推進

(1) 高齢者の交通事故防止対策

ア 高齢者交通事故防止2大対策

高齢者が当事者となる交通事故が増加傾向となっている現状から、高齢運転者及び高齢歩行者を対象とした、高齢者交通事故防止2大対策を重点的に展開した。

(ア) 高齢ドライバー無事故チャレンジの実施

7月1日から10月31日までの4カ月間、高齢運転者の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的に、70歳以上の高齢運転者を対象とした「高齢ドライバー無事故チャレンジ2022」を北海道警察と共同で、各方面及び各地区交通安全協会の協力を得て実施し、参加者8,879人の中から抽選で、無事故達成者100人に「無事故チャレンジ賞(2千円分の商品券)」を贈呈した。

(イ) 光って安全！高齢歩行者無事故チャレンジの実施

9月1日から12月31日までの4カ月間、高齢歩行者の交通事故被害防止と反射材

の普及・活用の促進を図るため、65歳以上の高齢歩行者を対象とした「光って安全！高齢歩行者無事故チャレンジ2022」を北海道警察と共同で、各方面及び各地区交通安全協会、北海道地域交通安全推進委員連絡協議会の協力を得て実施し、参加者8,076人の中から抽選で、無事故達成者100人に「無事故チャレンジ賞（2千円分の商品券）」を贈呈した。

イ 運転免許自主返納者に対するミニ感謝状贈呈事業の推進

運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢者に対して、これまでの交通安全を労うとともに、歩行中の交通事故防止に資するための返礼品（ミニ感謝状と夜光反射材のセット）を全道の運転免許試験場及び警察署へ配布した。

ウ 体験・実践型教育の推進

警察、自治体、地区交通安全協会等が開催する高齢者を対象とした交通安全教室等において、クイックアームやクイックキャッチ等の教育資機材の貸し出しにより、参加・体験型交通安全教育への支援を行った。

(2) 子供の交通事故防止対策

ア 交通安全教育活動等への支援

(ア) 小学生低学年向け交通安全教本による交通安全教育の推進

道内における小学生被害の交通事故の約7割を低学年が占めていることから、JA共済連と連携し、授業などでの教育用資材として、小学生低学年向け交通安全教本を作製し、教育委員会を通じて道内の全小学校979校に配布した。

(イ) 地域社会貢献活動の推進

新入学児童を対象に交通安全啓発グッズ（反射材、反射マスク、新入学児童用交通安全啓発チラシ）の寄贈や、通学路周辺交差点での安全指導を実施した。

(ウ) 自転車用ヘルメット贈呈事業への支援

道警察及び交通関係団体と連携し、ヘルメットの着用率を向上させ被害軽減等を目指すことを目的として、札幌市内5校の小学校を「自転車ヘルメット着用モデル校」に指定し、5校の1年生332名にヘルメットを寄贈した。

イ 参加・体験型交通安全活動への支援

幼稚園や小学校で行う交通安全教室の実施に伴い、自転車シュミレーターや交通信号機セットの貸し出しにより、参加・体験型交通安全活動への支援を行った。

4 飲酒運転根絶活動の推進

ポスター等の作製・配布と、資機材の貸出を通じた飲酒運転根絶活動を展開した。

- 日ハム選手を起用した飲酒運転根絶ポスター…………… 10,000枚
- 日ハム選手を起用した飲酒運転根絶啓発用うちわ…100,000本
- 交通安全メッセージ動画の制作…ロコソラーレ、稲葉篤紀等のスポーツ選手を起用
- 飲酒運転で家族を失った交通事故被害者遺族の手記集「癒やされぬ輪禍パートⅢ」の販売……………販売数13,806冊
- 酒酔い体験ゴーグルによる疑似体験への支援…ゴーグル貸出回数24回

5 スピードダウン啓発活動の推進

高速走行がもたらす被害の重大性などについて、テレビ、ラジオ、ホームページ等の各種広報媒体を通じた広報啓発活動を実施した。

6 シートベルト全席着用の促進

関係機関・団体と連携し、街頭啓発等を通じて全席シートベルト着用の向上を図った。

7 居眠り運転防止活動の推進

居眠り運転による重大交通事故を防止するため、居眠り防止「交通安全ブラックガム」などの啓発品を配布したほか、当協会北海道交通安全活動推進センター発行の「セーフティドライブマップ北海道」に、居眠り運転事故を起こしそうになった（起こした）地点や休憩場所（道の駅、コンビニエンスストア）を表記して周知するなど、居眠り運転防止活動を推進した。

8 自転車利用者に対する各種活動の推進

(1) 自転車安全利用の周知・徹底

ア 自転車教育資料の配付

自転車教室に活用するための教育資料「自転車安全教室」11,350冊を配付した。

イ 自転車安全教室の開催

各地区交通安全協会や北海道警察等と連携し、各学校等において自転車安全教室を開催した。

区分	札幌方面	函館方面	旭川方面	釧路方面	北見方面	合計
回数	723	224	220	116	128	1,411
人員	64,885	7,933	15,938	10,321	8,979	108,056

(2) 自転車安全教育指導員等に対する講習会の実施

○ 6月18日、旭川運転免許試験場において、旭川方面の自転車安全教育指導員を対象に、自転車安全教育指導員制度や自転車の乗車ルール、点検整備に関する実技指導を行った。

○ 10月2日、当協会自動車学園において、札幌市内及び倶知安地区の自転車安全教育指導員等を対象に、点検整備や自転車シミュレーターによる指導実演のほか、コースを使用しての安全走行に関する実践型の指導を行った。

(3) 交通安全子供自転車記録会・体験練習会の実施

7月10日、農試公園ツインキャップにおいて、第57回交通安全子供自転車北海道大会の中止に伴う代替えとして、「交通安全子供自転車記録会・体験練習会」を実施した。

記録会には、大会出場希望校の滝上小学校チーム（選手7名）を招致し、日頃の練習成果を大会形式で試すなど技能向上を図った。

記録会終了後には、同会場を一般開放しての「交通安全子供自転車体験練習会」を実施し、西区および手稲区の小学校児童のほか幼稚園児など31名が、自転車の安全利用に向けたルールやマナーを学んだ。

(4) 自転車損害賠償保険等への加入促進

ア 自転車安全整備制度「TSマーク」

安全に整備された自転車の利用促進を図るため、自転車安全整備制度をホームページや機関誌「交通北海道」で紹介し、自転車の安全整備によるTSマークの普及を図った。

○ TSマーク交付数…1,920枚（前年比 +410件）

イ 自転車保険「サイクル安心保険」

全日本交通安全協会が募集しているサイクル安心保険の普及・加入の促進を図った。

○ 加入件数…2,567件（前年比 -87件）

9 安全意識向上の推進

(1) 反射材着用の促進

テレビ、ラジオ、ホームページ等の広報媒体を活用し、夜間等における歩行者の交通事故防止対策に有効な反射材、反射マスクの着用促進に向けた広報啓発活動のほか、地下歩行空間での反射材のワゴン販売等を通じて着用促進を促進した。

(2) 「反射材デザインコンクール2022」の実施

夜間における歩行者事故防止対策の一環として、着用効果のある反射材への理解を深めその利用促進を目的に、誰でも気軽に身につけられるデザインを募集する「反射材デザインコンクール2022」（応募：7月～9月 審査会：10月）を実施した。

8校から33作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞は、高校生がデザインした「もっちりシマエナガ」に決定した。

(3) デイ・ライト運動の推進

関係機関・団体と連携した街頭啓発などを通じて、昼間の交通事故防止に効果がある「デイ・ライト運動」の実践について呼びかけた。

第2 優良な運転者の養成及び訓練

1 自動車学園における運転者教育の推進

(1) 安全・安心な交通社会を実現するための運転者の養成

ア 地域における交通安全教育センターとしての役割の推進

運転免許を取得しようとする教習生に対して、個々人の運転適性に応じたきめ細かな教習を実施するとともに、安全な運転行動につながる運転者教習を総合的かつ体系的に行った。

また、ペーパードライバーを対象に、運転技術の向上と交通事故防止に資する実践的な交通安全教育（講習）を実施した。

【取得免許別入校者の状況】

区分	普通	普通二	準中型	中型	大型一	大型二	大型特殊	けん引	二輪	合計
令和4年度	472	46	11	47	135	78	152	76	170	1,187
前年比	-177	+24	+1	-12	+17	+13	+24	+20	+33	-57

イ 冬道安全運転講習会の実施

民間企業の従業員を対象とした冬道安全運転講習会を自動車学園の教習コース及び路上において5回・12人に対して実施した。

(2) 若年運転者教育の推進

ア 若年者特別講座等の充実

25歳未満の教習生を対象に、スピードの脅威、若年運転者の運転特性等をテーマとした「若年者講習」を実施し、安全運転意識の高揚を図った。

イ 卒業生に対する継続指導

交通安全運動の実施時期等にあわせて、LINEやEメールなどを通じた指導を継続的に行い、交通事故防止を呼びかけた。

【継続指導の実施状況】

区分	電話指導	招致指導	Eメール	レター指導	LINE	合計
令和4年度	1,276	312	6,674	1,154	1,161	10,577
前年比	-735	+52	-687	+95	+1,161	-114

(3) 高齢運転者教育の推進

高齢者講習専門の施設である「交通安全教育センター」において高齢者講習等を積極

的に実施した。なお、改正道路交通法の施行に伴い、年度途中から全講習を認定講習に切り替えるにあたり、システム改修遅延の影響により受講者は減少した。

【高齢者講習の実施状況】

区 分	法 定 講 習		認 定 講 習		合 計
	70～74歳	75歳以上	70～74歳	75歳以上	
令和4年度	927	1,893	282	635	3,737
前 年 比	-755	-644	+282	+635	-482

2 安全運転技能講習等の実施

(1) 二輪車安全運転講習会の実施

4月から9月までの間、札幌運転免許試験場において6回、二輪車安全運転講習会を実施し、延べ333人が受講した。

(2) 二輪車安全運転北海道大会の実施

6月5日、札幌運転免許試験場において「第55回二輪車安全運転北海道大会」を2年振りに実施した。出場した20名の選手は、二輪車安全運転講習会で習得した安全運転技能の更なる向上と交通安全意識の高揚を図った。

(3) 四輪車安全運転技能講習会の支援

全日本交通安全協会、日本自動車連盟（J A F）及び日本自動車工業会との三者共催で実施の「セーフティトレーニング」及び「シニアドライバースクール」を後援団体として支援した。

(4) 二輪車安全運転指導員審査会の実施

10月16日、当協会自動車学園において、二輪車の交通事故防止と健全な利用等の安全教育を行う、二輪車安全運転指導員の育成に向けた審査会を実施した。

(5) 二輪車による交通事故防止対策の推進

自動二輪車による交通事故の多発を受け、新たな事業として、北海道警察と連携し、道内の各運転免許試験場において、自動二輪免許新規取得者の免許証交付時に、交通安全三角旗（3,500本）を配布し安全運転の呼びかけた。

第3 交通安全に関する調査研究

1 北海道警察との連携による交通情報の活用

北海道警察との連携により、道内の交通事故発生状況等の交通情報を活用し、交通ミニ統計2,500部を作成して、各地区交通安全協会及び関係機関・団体等に配布した。

2 交通事故防止に資する調査研究

北海道警察から提供を受けた、交通事故の発生状況に係る各種データに基づき、北海道大学及び寒地土木研究所等の協力を得て、当協会独自でホワイトアウトの発生原因や危険性を解説した交通安全用教育用映像「吹雪など視界不良時における交通事故の実態白い闇（ホワイトアウト）の危険」を制作した。

第4 交通安全活動推進センター事業の積極的な推進

道路交通法第108条の31第1項により、公安委員会の指定を受けた機関として、同条第2項に掲げる事業等を積極的に実施した。

1 交通事故防止関連書籍、資料の作製事業

- セーフティドライブマップ…北海道版：販売数44,398冊、札幌版：販売数7,681冊
 - 癒やされぬ輪禍…販売数13,806冊
 - 交通を科学する…販売数2,207冊
- 等の小冊子を作製販売した。

2 交通規制等の広報事業

主催者等から、交通規制を伴うマラソン、大規模なイベントや道路工事等の広報業務について、交通規制図の作製・頒布の依頼を受け次表のとおり実施した。

また、同規制図の裏面を有効活用し、交通事故防止の啓発活動を行った。

【事業実施状況】

区 分	事業数	チラシ配布数	ポスター配布数	ダイレクトメール数	看板等掲出数
令和4年度	11	261,300	1,813	8,065	120
前 年 比	+7	+196,400	+1,813	+6,095	+120

3 道路使用許可の調査事業

札幌市内及び旭川市内警察署管内の道路使用許可に関し、許可場所の道路又は交通状況の実態調査事業を適正に実施した。(実施状況は、第5の6のとおりである。)

4 交通事故相談事業

交通事故当事者、交通事故被害者等の相談に的確に対応するため、相談員研修会に参加するなど、資質と知識の向上に努めた。(相談取扱状況は、第8の2(2)のとおりである。)

第5 委託事業の適正な実施

1 自動車保管場所調査業務及び同データ入力業務

道内の自動車の保管場所申請に伴う現地調査・データ入力を適正に実施した。

【調査・入力実施状況】

区 分	調 査 件 数	データ入力件数
令和4年度	369,284	323,536
前 年 比	+6,468	+8,389

2 更新時講習及び停止処分者等講習業務

札幌方面の免許更新申請者及び停止処分者等に対する講習を適正に実施した。

【更新時講習実施状況（運転免許更新予定者に対して行う講習）】

区 分	違 反		初 回		一 般		優 良		特 定		合 計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和4年度	1,925	37,544	939	27,265	2,254	63,912	4,658	209,268	3	56	9,779	338,045
前年比	-39	-9,434	+46	+593	-23	-4,736	-280	-19,283	±0	-4	-296	-32,864

【違反者講習実施状況（軽微な違反者に対して行う講習）】

区分	社会参加を含む講習		社会参加を含まない講習		合計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和4年度	84	389	101	284	185	673
前年比	-11	-115	-9	-82	-20	-197

【停止処分者講習実施状況（運転免許停止処分者に対して行う講習）】

区分	短期		中期		長期		合計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
令和4年度	276	1,946	78	230	73	175	427	2,351
前年比	-37	-798	-2	-110	-1	-51	-40	-959

【高齢者講習実施状況（70歳以上の高齢運転者に対して行う講習）】

区分	高齢者講習		合計	
	回数	受講者数	回数	受講者数
令和4年度	536	2,246	537	2,247
前年比	+57	+176	+23	+114

【運転技能検査実施状況（75歳以上で一定の違反歴がある者に対して行う講習）】

区分	運転技能検査 (R4.5.13施行)	
	回数	受講者数
令和4年度	72	81

【臨時認知機能検査実施状況（75歳以上の高齢運転者に対して行う検査）】

区分	臨時認知機能検査	
	回数	受講者数
令和4年度	84	826
前年比	+8	+204

3 運転免許証更新及び高齢者講習情報提供業務

道内の運転免許証更新予定者及び高齢者講習対象者に対する情報提供業務を適正に実施した。

【運転免許証更新情報提供実施状況】

区分	札幌方面		その他方面		合計	
	発送件数	未着率	発送件数	未着率	発送件数	未着率
令和4年度	465,436	1.77	294,920	1.71	760,356	1.75
前年比	-14,275	-0.03	-8,264	+0.02	-22,539	-0.04

【高齢者講習情報提供実施状況（発送件数）】

区分	札幌方面	その他方面	合計
令和4年度	96,684	79,343	176,027
前年比	-1,984	-14,131	-16,115

4 原付講習業務

札幌方面の原付免許の取得希望者に対する講習を実施した。

【原付講習業務実施状況】

区 分	回 数	受講者数
令和4年度	21	300
前 年 比	±0	+26

5 地域交通安全活動推進委員講習等業務

公安委員会から委嘱された、全道の地域交通安全活動推進委員に対する効果的な講習会を開催するとともに、活動に必要な資料を提供した。

【研修会の開催及び会報紙の発行状況】

区 分	研 修 会		会 報	
	開催回数	参加者数	発行回数	発行部数
令和4年度	14	113	4	4,000
前 年 比	+7	+54	±0	±0

【活動用資料等の作成・配布状況】

区 分	自転車事故 防止チラシ	高齢者事故 防止チラシ	違法駐車 防止チラシ	違法駐車防止 ステッカー	飲酒運転 根絶チラシ
令和4年度	99,000	99,000	99,000	33,000	99,000
前 年 比	±0	±0	±0	±0	±0

6 道路使用許可調査業務

委託を受けた札幌市内及び旭川市内警察署管内における道路の工事状況について、調査を適正に実施した。

【道路調査実施状況】

区 分	札幌市内署	旭川市内署	合 計
令和4年度	8,265	1,868	10,133
前 年 比	-3	+5	+2

第6 交通安全功労者及び優良運転者等の表彰

1 全日本交通安全協会会長等表彰

交通事故抑止に貢献した交通安全功労者等を上申した結果、次表のとおり受賞した。

【交通栄誉賞（緑十字章）】

区 分	金 章	銀 章	銅 章	合 計
交通安全功労者数	3	12	21	36
優良運転者数	1	6	50	57
合 計	4	18	71	93

【交通安全優良団体等】

区 分	交通安全優良団体	交通安全優良学校	優良交通安全協会
受賞数	1 団体	0 校	3 協会

2 北海道警察本部長・北海道交通安全協会会長連名表彰及び会長表彰

交通安全運動の推進に貢献した交通安全功労者、団体及び優良運転者等を上申した結果、次表のとおり受賞した。

区 分	功 労 者		寄 付	運 転 者		連名表彰		合 計	
	個 人	団 体		20年	30年	功労者	運転者	個 人	団 体
札幌方面	9	14		20	18	10	17	74	14
函館方面	5	0		13	9	2	6	35	0
旭川方面	1	0		8	6	1	9	25	0
釧路方面	0	2	1	2	6	0	3	11	3
北見方面	2	0		1	1	8	7	19	0
合 計	17	16	1	44	40	21	42	164	17

第7 運転免許証関係申請（届出）者のための事業

1 運転免許申請用写真の撮影

運転免許証の再交付申請・国外運転免許証申請者に対する利便性を図るため、写真撮影事業を実施した。

- 撮影件数…13,708件（前年比 +2,171件）

2 運転免許証の郵送

優良運転者の運転免許証経由申請に伴う代理郵送を含め、交付される運転免許証を都合により受領できない申請者等からの依頼を受け、書留郵便での郵送事業を適正に実施した。

- 郵送件数…1,640件（前年比 +49件）

第8 地区交通安全協会等への支援

1 地区交通安全協会等の交通安全活動推進への支援

(1) 交通安全活動に対する支援

交通安全活動への助成及び交通安全啓発品の支援をしたほか、各種交通安全資料の提供を行った。

(2) 地区交通安全協会への入会促進活動の強化

ア 交通安全協力店割引制度の周知

入会促進の一環として導入した「交通安全協力店割引制度」を充実させるとともに、ホームページやセーフティドライブマップに協力店を掲載宣伝するなど、あらゆる機会を捉えて積極的な入会促進活動を推進した。

イ 統一会員証の作製・配布

経費削減等を目的とした全道統一の会員証等

- 会員証…120,000枚（「交通安全協会会員協力店」を一覧できるQRコード掲載）
 - 「交通安全協会会員協力店」冊子…90,000枚
- を作製し、各方面、地区交通安全協会に配布した。

(3) 運転免許試験場のサービスコーナーにおける入会促進広報

運転免許試験場及び中央・厚別優良運転者更新センターのサービスコーナーにおいて、免許証の更新のために来場した利用者に対し、積極的な声かけ案内を行い、好感の持たれる窓口対応を行うなど会員の確保に努めた。

また、新規免許取得者に対し、試験場の学科試験会場において、地区交通安全協会の活動状況について分かりやすい事例を挙げて説明し、新規入会者の確保に努めた。

2 交通事故等に係る被害者への支援

(1) 交通事故被害者の会への支援

交通事故被害者の会の自主的な活動を支援するため、運営資金の助成、事務室の提供等を行った。

【交通事故被害者の会の活動状況】

会 員	総会	例会	会報発行	パネル展	講師派遣	フォーラム
121家族	0回	1回	年2回 3,400部	8会場(55日)	65回(9,640人)	0回

(2) 交通に関する困りごと相談、交通事故相談業務等の適正な推進

交通事故相談所において受理した相談取扱状況は、次表のとおり対応した。

区 分	相談受理件数			相 談 種 別				
	電話	面接	合 計	賠償責任	示談方法	過失割合	自賠償保険	その他
令和4年度	4		4					4
前 年 比	-1		-1	-2				+1